テレビ会議でいじめ撲滅交流会
香川県、埼玉県、福岡市連携で

香川県と埼玉県および福岡市の３教委が連携し、小・中学生がインターネット中継を通じていじめ撲滅に向けた意見交換を行う交流会が８月22日、香川県教委の主催で実施された。児童生徒からは、朝のあいさつ運動や異学年交流会など、各地のいじめ撲滅策が報告された。話を聞く中で、「相手の顔が見えないネット上の交流のあり方を再考したい」「花一杯運動など、楽しく活動できる内容は参考になった」などの意見が語られ、互いに、今後の取り組みへの参考にしていた。

いじめ撲滅を各県市が連携して協議

交流会は、香川県教委が継続的に実施している県内小・中学生による「いじめゼロ子どもサミット２０１５」の一環として企画・実施されたもの。

これまで同県内だけに留まっていた活動を、他県などと連携しながら広がりのある活動にしたいとの意向に賛同した埼玉県と福岡市との初の共同開催となった。

インターネットを介して各会場を結んだテレビ会議システムを通じて、各会場の小・中学生が、それぞれのいじめ撲滅への取り組みを報告し、今後進めたい対策などについて話し合った。

埼玉県は、川口市のＳＫＩＰシティ彩の国ビジュアルプラザを会場に、県内５校から小・中学生16人が参加した。

最初は、アイスブレークのために「ご当地クイズ」。「お笑いタレントのオードリー春日さんの出身地は埼玉県か」や、「埼玉県のマスコットキャラクターである『コバトン』はハトがモチーフか」などを他会場に投げ掛け、互いの緊張をほぐしていった。

共通の標語や活動で意識と行動を高める

香川県の小・中学生の報告では、この交流のきっかけとなった「いじめゼロ子どもサミット」について報告。

平成21年から開始し、3年ごとに県内小・中学生が「いじめゼロ」を合言葉に、さまざまな取り組みや標語を考え、全県でいじめ撲滅に向けた共通意識や実践を進めていったとした。

また11月を県内の「いじめゼロ月間」に定め、各学校の取り組み強化を促していることや、「いじめストップ・ポーズ」の考案などで、県全体でいじめ撲滅へのムーブメントを広げているなどとした。

福岡市では「いじめゼロ宣言」の下で、市内全小・中学校の代表児童生徒が参加する「いじめゼロ・サミット」などを開催。いじめ撲滅への4カ条の採択や毎月10日を「いじめゼロの日」に定め、市内の各学校でいじめについてより深く考える活動や学びを進めているなどとした。

埼玉県からは、学校ごとのいじめ撲滅策が説明された。

越谷市立花田小学校の児童からは、「ありがとう」などの思いやりや感謝の言葉を1日5人を目標にかけ合うことで、日常の思いやり意識を高める言葉掛け運動や、上・下級生間の縦割り活動で学校を花一杯にする運動などを挙げた。言葉掛けや異学年交流などを意識することで、思いやりや言葉への責任感を高めていくようにしているなどとした。

杉戸町立泉小学校の児童からは、全学年が共に進める縦割り班活動「古代祭り」を解説。異学年で協力し合いながら飯ごう炊飯などに取り組み、互いの親睦や思いやりの心を育むことにつなげているとした。

互いの実践に刺激を受け、より良い取り組みへのヒントを探った

一方、中学校の取り組みとして、寧士見市立富士見谷中学校の生徒からは、生徒会が中心になり、登校してきた生徒への「朝のあいさつ運動」を行っているなどと報告。三郷市立北中学校の生徒からは、学校の「いじめ撲滅宣言」スローガンを全生徒から応募し、共通意識を高めながら取り組みを継続しているとした。今年のスローガン「心の底から全員笑顔」で、校内で花をみんなで育てることで優しい心やいたわりの心を高めているとした。

自分にできることから広げる

一連の取り組みを聞く中で「いじめをゼロにすることはできるか」についても改めて考えていった。

■直接褒めない

逆もまた真なり。つまり、直接褒めると反発を生むのですから直接褒めなければいいということです。そこで「間接的に褒めていく」のです。達也君という「褒める」対象者がその場にいない時に

その子を褒めまくるという褒め方をします。次のような感じです。

休み時間に、教師が教室で漢字ノートのチェックをしていると、何人かの子どもたちがそばに寄ってきて、教師の机の周りに子どもたちの輪ができることがあります。ここで仕掛けるのです。

最初は「さすが昭雄さんは宿題の字もていねいですね」と、その場にいる子の話題から入ります。時には、テレビ番組や野球の話題などもしながらわいわいやっていきます。そして、達也君のノートを見て、独り言のように「達也って、ていねいに字を書くんやなぁ」とつぶやくのです。

実際の場面では、この私の発言に対して、ある女の子が「そうそう、あいつ、けっこう字だけはきれいに書くんよね」「意外とね」「うん、意外と」と応えてくれます。軽く笑い声が起こります。

さらに、「でも、6年になってがんばっているんじゃない」「そりゃ、5年の時に比べたら、もうすごいと思うよ」「そやな。あいつ、がんばっているよな。あっ、ところで日曜のダッシュ村見た？」などと最後も独り言のように締め、別の話題に移りました。

■即効性はないけれど

この「褒め言葉」のパスは、仮に「秘密にしておいてね」とお願いしていても、たいていの場合、いずれ達也君に伝わります。「なぁなぁ、この前、達也のいないところで、たわせんがあんたのこと褒めとったで」など、聞いた達也君がうれしくないはずはありません。

たとえ教師に対してマイナスの印象を持っていても、友達を介して褒められるのですから、その場にいない教師に反抗しようもありません。素直に受け取ってくれるはずです。それに、万が一、達也君の耳に入らなくてもいいんです。「達也君ががんばっている」ということを、クラスの友達にプロデュースすることができるからです。

クラスの友達の達也君を見る目が変わっていけば、達也君自身も次第に変わっていきます。即効性はありませんが、じわじわとその子に効いていきます。達也君のようなタイプにはもってこいの褒め方なのです。

前回は、子どもたちとつながる褒め方のポイントを「その場で褒める」「その場で褒めない」の2つの王道パターンを例に話させていただきました。そこで、今回はちょっと変化球的な褒め方を紹介します。直球勝負もいいですが、クラスの中にはそれだけでは通用しないお子さんもいるからです。

以前お話ししたやんちゃ者の達也君などがそうです。学校の教師に対して、いい印象を持っていない子の場合、直接褒められても、素直に受け取ることができません。それどころか、何か裏があるのでないかと考え、反発を生むことさえあるのです。では、このようなタイプのお子さんにはどうすればいいのでしょうか。

子どものタイプに応じた引き出しをたくさん持とう（㈲ＫＡＹＡ＝平井良信撮影）

笑顔あふれる学級づくり

兵庫県芦屋市立打出浜小学校教諭　俵原正仁

第6回　じわじわ印象アップの間接褒め技

思いやる言葉や異学年交流など

第6回

夏休み明けからの学校復帰

夏休み明けは、不登校から復帰してくる子も、新たに不登校になる子も、はたまたいったん復帰したものの、また行けなくなる子も現れる時期である。不登校予防はもとより、学校復帰を目指す観点からも、9月の不登校は「過剰適応」が懸念されるとされていたが、登校の開始から3日、3週間、3カ月のタイミングでそれぞれ不登校になる原因と対処法が

紙粘土細工による五感を使った授業でストレス発散

ちの提案が通らないこともある。「あれだけ頑張って行っているのを見て辛いです。ここまでやってだめだったら、もういいよ、って言ってあげたいです」。そんな言葉を聞くと歯がゆい気持ちでいっぱいになる。

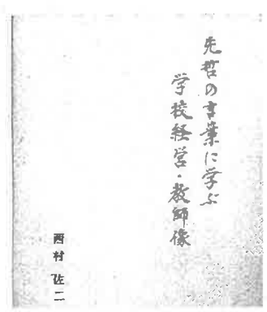
生徒指導　学級経営

保健、医療、
多様な問題
場や開発途
ぶ機会とな
内）と100
ワードファ

り組み部門
践事例。
育実践▽団
学生、生徒

、団体奨励
間の海外研
。
応募は㈱メ
グローバル
係＝〒１５
谷区千駄ヶ
／℡０１２
メール＝g
asoken.jp

仕事術
う軽減するか―
ター所長
1，429円＋税
教師の仕事術
多忙感をどう軽減するか



“学校経営には哲学が要る”

先哲の言葉に学ぶ 学校経営・教師像